

建設水道委員会

土木部及び水道局の所管に属する事項に対応する委員会です。

(4月1日からの所管です。)

◎岡田康弘 ○竹内靖人
岡安謙典、倉持照憲、津本辰己、西野修平
村田隆男、森西順次

今期定例会において、当委員会に付託された議案二十三件、請願一件について審査。議案二十三件は全て全員一致で原案可決、請願は継続審査と決した。

議案第九十号のうち、都市計画総務費の中島病院旧本館保存活用計画に基づく、調査設計委託料については、岡山県の近代化遺産に登録

されている貴重な建築物であるため、内外とも可能な限り現状での保存活用を考えており、地域や建物の特徴、病院の環境・運営に配慮したうえで、地域まちづくりの推進拠点として、地域活性化や地域振興につながる活用を図る。新年度当初から調査設計、保存活用に向けた改修工事に着手、二十一年四月、運営開始。来館者専用駐車場の確保が急務であり、田町の旧武家屋敷の利用も含めて、総合的に検討していくとの答弁があった。

また、下水道事業の公債費が年々増加しているため、公共下水道の認可区域を縮小し、逆に合併浄化槽設置を推進すべきではないかとの指摘をしている。

次に議案第九十五号では、下水道工事に伴う水道・ガスの仮設並びに移設工事に多額の補償費を要していることから、経費削減を図るためにも、水道局、ガス会社と相互に連携をとり、よく協議しながら効率的に事業を推進するよう意見を付している。

さらに、当局に対して、事業を執

行するうえで関係町内や地元関係者等に事業計画やその内容について周知徹底を図り、行政として説明責任を果たすとともに、地域住民の声にしっかりと耳を傾け、住民との信頼関係を築きながら十分理解を得たうえで事業を推進していただきたい。また、これまで議会が採択した請願についても、その重きを十分認識されたいとの苦言を呈している。



視察日程

平成十九年十月九日(火)

～十一日(木)

場所と目的

北海道苫小牧市

●「水道水源保全の取り組みと繰返る過方式による浄水方法」について

●「西町下水処理センターの消化ガス発電利用」について

北海道岩見沢市

●「岩見沢駅周辺整備事業」について

苫小牧市は下水汚泥の減量化と百%のリサイクルに取り組んでいる。汚泥の処理過程で発生する消化ガスを利用した発電により、下水処理場の使用電力の三割強をまかなっている。本市も省エネ、資源循環型社会の実現を目指して、積極的に取り組む必要性を論議する。

岩見沢市は中心市街地再生のため駅周辺を整備し、駅舎がまちづくりの一翼を担っている。まちの再生と駅舎に込めた人々の思いの深さに触れ、市民参加による協働のまちづくりとは、そして公共事業のあり方はどうあるべきかを再考した。